

3 学年英語科学習指導案

交野市立第三中学校

授業者 加藤里枝

Clara Ho

日時 平成26年1月28日(火) 第6時限(14時50分～15時40分)

学級 第3学年4組(39名)

場所 イングリッシュルーム(南館1階)

1、単元名 NEW CROWN 3 We're talking 7 電話をしよう

2、単元の目標

(1) 積極的に会話練習、会話作成に取り組むことができる。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(2) Could you ...? I'm afraid ...を適切に用いて会話文を作成することができる。(表現の能力)

(3) Could you ...? I'm afraid ...を用いた表現の知識を身に着ける。

(言語や文化についての知識、理解)

3、単元について(教材観・指導観)

本単元は電話での会話場面を通して **Could you ...?** という丁寧な依頼表現を学ぶ。生徒への興味づけのため、教科書に出てくる会話文を少し脚色し、実在の人物に置き換えて導入をはかる。また、教科書では新出単語として扱われている **I'm afraid...** も **Could you ...?** と合わせて **Talking point** として導入し、2つの表現に重点を置き、同時に習得させたい。

本単元は、他の各レッスンが文構造・文法理解を軸にした構成になっているのに対して、**We're talking** という名のとおり、日常の会話場面を軸にした構成になっている。そこで、ここではペアでの会話活動を中心に活動を進め、コミュニケーション力の育成をはかりたい。また、会話文の作成を通して創造力を鍛え、自分の考えや意見を表現できる力を養いたい。

4、単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化に関する知識・理解
積極的に会話練習、会話作成に取り組んでいる。	Could you ...? I'm afraid ... を適切に用いて会話文を作成することができる。		Could you ...? I'm afraid ... を用いた表現の知識を身につけている。

5、生徒観

全体的に明るく仲の良い学級である。男女でのペア学習に大多数が抵抗なく取り組むことができる。積極的に発言する生徒も多く、活動に対して前向きに取り組む姿勢が見られる。一方で中には集中できない生徒も見受けられ声かけが必要な場面もしばしばある。また英語が得意な生徒とそうでない生徒の差があるため、どちらの層の生徒も退屈せず取り組める、また、協力して取り組める教材、課題の工夫が必要である。

6、本時の指導計画

過程	生徒の活動	JTEの活動	ALTの活動	評価方法
導入 6分	教師のスキットを見てどんなことを話しているのか想像する。 Talking point をリピートする	ALTの補足説明をする。	ALTとJTEでスキットをするのでどんな話をしているのか想像しながら聞くよう伝える。 設定場面はリエがボーイフレンドのクリスに電話をしたところ、ある女性が電話に出る、という設定であると伝える。	
		JTE: This is Rie. May I speak to Chiris, please? ALT: I'm afraid he is cooking dinner for me. JTE: I see. Could you ask him to call me? ALT: I'm afraid I'm busy now.		
		ALTとJTEで会話の内容を生徒から引きだし、今日のTalking Pointが、Could you~?とI'm afraid~.であることを伝える。 ワークシートを配布し、JTEがCould you~?とI'm afraid~.の使い方を説明する。 ALTがTalking pointの例文をリピートするよう伝える。		
展開 8分	ワークシート1番の(1)~(4)の語句の意味を考える。 ALTに続いて(1)~(4)の会話を音読する。 ペアでAとBに分かれて会話練習する。	ALTの補足説明をする。 机間指導をする。	ワークシート1番の4つの絵にそってペアで会話練習をすることを伝える。 (1)~(4)の語句の意味を確認する。 (1)~(4)の会話を音読し、リピートさせる。 その後、女子がA、男子がBでペア練習するよう伝える。 続いて、男子がA、女子がBでペア練習するよう伝える。	
8分	教師が提示したピクチャーカードに対してCould you~?とI'm afraid~.の文を自分で考えてペアで会話をする。	ALTの補足説明をする。	クラス全体にピクチャーカードを提示し、その絵に合うようにCould you ~? I'm afraid ~.の文を自分で考え、ペアで会話するよう伝える。 1枚目、2枚目は女子がCould you~?男子がI'm afraid~.3枚目、4枚目は逆で練習する。 それぞれのピクチャーカードにつき1組または2組程度発表させる。	
発展 20分	Could you~?とI'm afraid~を用いた会話をペアで作成する。 教師にチェックをもらった自分達で作成したスキットを、シナリオを見ずに演じられるように練習する。	ALTの補足説明をする。 机間指導をし、生徒が作成したスキットをチェックする。	Could you~?とI'm afraid~を用いてスキットをペアで作成するよう伝える。人物設定は、ドラえもんとのび太、アラジンとジーニー、まるごと友蔵、ETとエリオットの中から1つ選ぶよう伝える。作成できたら教師にチェックをもらい、その後、シナリオを見ずに演じられるように練習するよう伝える。 アイコンタクト、ジェスチャーを意識し、カタカナ英語や日本語を使用しない、ということに注意して練習するよう伝える。 机間指導をし、生徒が作成したスキットをチェックする。	Could you ~? I'm afraid ~.を適切に用いた会話文を作成することができるか。(表現の能力) (言語や文化についての知識、理解) 積極的に会話作成に取り組む、練習し、演じているか。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
8分	スキットをクラスの前で発表する。	発表した生徒のスキットについて感想、評価を述べる。	作成したスキットをみんなの前で発表してくれるペアをつくる。	